

---

<u>開場</u>	11：45
<u>開会の辞</u>	12：00
<u>研究発表</u>	12：05～12：35 小林 洵也 （千葉大学大学院人文公共学府 博士前期課程） Vegan をすることの多孔質性：沖縄における月桃ちまきのライフサイクル
<u>休憩</u>	12：35～13：30
<u>総会</u>	13：30～14：00
<u>休憩</u>	14：00～14：20

シンポジウム 14：20～17：20

**医学×人類学×臨床——人と向き合う現場からの報告**

本シンポジウムに登壇するのは、医学生時代に文化人類学を学んだ経験のある地域医療に携わる現役医師たちである。講義やセミナーという座学形式の学びにより人類学的思考——「相対化」という態度により自らによって立つ医学の倫理、医学的思考が必ずしも正しいとは限らない、自らの常識や当たり前を脇に置く思考法——を身に着けるきっかけを得た彼らが、地域医療に携わるなかでどのように悩み、迷い、葛藤し、拒否などを経験してきたのか。その報告と、それに対する文化人類学者2名の対話により、健康・臨床・フィールドワークをテーマとしながら医学と人類学の協働について考える。

**オーガナイザ**

内藤 順子 （早稲田大学）

**パネリスト**

浮ヶ谷 幸代 （相模女子大学名誉教授）

趣旨説明

藤田 和樹 （総合診療医、秩父市大滝国民健康保険診療所）

「医師化」というプロセス

中村 香代子 （総合診療医、自治医科大学付属病院）

地域を知る：支援者としての医療を目指して

土肥 清志 （リハビリテーション科医、上野村へき地診療所）

人類学との対話：医師として、キリスト教徒として

密山 要用 （家庭医、東京ほくと医療生活協同組合王子生協病院ほか）

臨床と地域をフィールドワークすること：「健康」と「協働」について考える

**コメンテーター**

清水 展 （関西大学）

白川 千尋 （大阪大学大学院）

※今回の総会・シンポジウムでは懇親会を行いません。

---

お問い合わせ先

〒162-8644 新宿区戸山 1-24-1

早稲田大学文学学術院内 現代文化人類学会事務局

E-mail : vita-jimu@list.waseda.jp

Website : <https://currentanthropology.jimdofree.com/>